

# 令和7年度 研究成果発表会プログラム

開会			10:00
1	ワケネギ「東京小町」の周年栽培体系における生育特性の解明 ～「東京小町」は長ネギが不足する春から夏に出荷できます～	園芸技術科 吉原 恵子	10:05 ～ 10:20
2	コマツナ大株栽培の管理技術 ～正しい管理で収益は着実に、品質は確実に～	江戸川分場 小坂井 宏輔	10:20 ～ 10:35
3	カブの生長段階による農薬吸収特性の解明 ～カブの大きさによる農薬残留量の違いを調べました～	生産環境科 松下 裕美	10:35 ～ 10:50
4	都内に生息する土着天敵を活用した防除事例 ～圃場周辺の天敵を使った微小害虫の防除～	生産環境科 加藤 綾奈	10:50 ～ 11:05
5	トマト養液栽培に用いるヤシガラの診断基準の作成 ～ヤシガラの成分の診断方法を作成しました～	生産環境科 坂本 浩介	11:05 ～ 11:20
6	鉢物向け八重系ブバルディアの選抜と周年栽培技術の開発 ～ブバルディアの鉢物生産の復活をめざして～	園芸技術科 大槻 優華	11:20 ～ 11:35
7	ブバルディアウイルスフリー苗の安定生産技術の確立 ～ブバルディア培養苗の奇形花低減にむけて～	園芸技術科 押野 任志	11:35 ～ 11:50
休憩			11:50 ～ 13:10
特別講演『温暖化が東京の果樹におよぼす影響と対策』			13:10 ～ 14:10
休憩			14:10 ～ 14:25
8	遺伝情報を利用した乳牛における採卵成績予測技術の開発 ～受精卵を多く生産できる乳牛を選ぶことができます～	畜産技術科 大関 和也	14:25 ～ 14:40
9	ブドウ「高尾」の早期成園化・安定生産に向けた栽培技術の確立 ～東京特産品種「高尾」に適応した栽培方法を紹介します～	園芸技術科 荒井 那由他	14:40 ～ 14:55
10	学校給食における地場産農産物受発注業務へのIT技術の活用 ～受発注業務の効率化とデータの見える化で生産者との対話促進～	スマート農業推進室 植松 光代	14:55 ～ 15:10
11	「新しい街路樹用中高木剪定マニュアル」の作成 ～景観を維持できる樹種選定とその管理方法を提案します～	緑化森林科 長嶋 大貴	15:10 ～ 15:25
12	森林管理におけるスマート技術の活用 ～ドローン等を活用した森林計測に取り組みました～	緑化森林科 新井 一司	15:25 ～ 15:40
閉会			15:45

## 特別講演 『温暖化が東京の果樹におよぼす影響と対策』

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門  
研究推進室 杉浦 俊彦 氏

3年続きの猛暑など、温暖化の影響はいよいよ看過できないものになっています。気候変動の状況やブドウ、ナシなどでの被害が発生するメカニズムを解説し、今年からできる対策から、より長期的な対策まで紹介したいと思います。

### <杉浦 俊彦(すぎうら としひこ)氏 プロフィール>

1987年から農林水産省果樹試験場、農研機構果樹茶業研究部門などにおいて、気象と果樹生育との関係に関する研究を実施。2000年頃からは温暖化対策を中心に取り組む。2023年に「気候変動に対応する農業生産技術の振興」で文部科学大臣表彰。

